

# 「都留郡村絵図・村明細帳集」

発刊

都留市史の資料編として、先に「地史・考古編」を発刊いたしました。このたび、南北都留郡における七二か村・八七点の江戸時代の村絵図と、四六六の郡内村々の村明細帳という史料を収録した「都留郡村絵図・村明細帳集」が発刊となりました。

このたびの資料編は、すべての村絵図をカラーで印刷してありますので、江戸時代の村々の様子をあざやかにうかがうことができます。また、カラー印刷と対象できるかたちで、モノクロで同じ村絵図を印刷し、そこに村絵図に書かれた文字を活字で印刷してありますので、誰にでもカラーの村絵図とモノクロの村絵図を対比させながら、村絵図が読めるように編集してあります。

さらに、各村々の江戸時代の様子についての説明も付されており、親しみをもって利用していただける資料集ではないかと思えます。是非一家に一冊、郷土の村絵図集を備えていただきたいと存じます。

なお、上・下谷村と平栗村につきましては、横一〇五センチ・縦七五センチのカラーとモノクロの絵図八枚が附図として収められております。



一方、同時に収録した「村明細帳」は、江戸時代の家数や人口、牛馬数、耕地面積、用水、入会山、農業、農間稼ぎなどのことが記されたもので、いわば江戸時代の村勢要覧といふべき史料であります。本は、A4判、四三〇頁、上製本貼函入、表紙布張り。頒布価格は六〇〇〇円です。購入については、文化会館二階市史編集室 ☎(43) 1321

## 生涯教育振興事業

### 「絵画教室開催」

世界で一枚しかない

あなたの絵を

あなた自身の気持ちや、個性を色や形に伸び伸びあらわした、ユニークな絵を創作してみませんか。

講師

都留文科大学教授 中山 義典先生

期日内容

一回 8月9日(火) 基礎技法の説明と花の写生

二回 8月13日(土) 花による創作

場所

都留市中央公民館 研修室 (文化会館 三階)

種類

水彩と油絵 持ち物

水彩画用具又は油彩画用具一式、六〇八号スケッチブック、油彩

用キャンパス(六〇×一〇F型) 鉛筆又は消しゴム 注 画架を忘れずご持参下さい 募集人員 25名(五回参加可能な方)

申込期間

7月21日より7月31日まで (先着25名で締切ります)

申込方法

所定の申込用紙が中央公民館に用意してあります。電話による申込みも可能。

その時は氏名、年令、住所、職業、電話番号をお知らせください。

申込先

都留市中央公民館 (文化会館 三階)

☎(43) 1321 内線42・43

## 本邦初公開

### 小山田氏展を開催

戦国時代に郡内を領し、谷村に居を構えた小山田氏について、市民の皆様にご存知であったかたに、武田二十四将の一人信茂を中心に展示会を開催いたします。皆様のご来場をお待ちします。 期日 九月一日(木)〜九月四日(日) 場所 文化会館三階研修室



## 俳句

文化協会事業の一環として、都留市俳句連盟では、六月十二日に西湖にて吟行句会を行い、次の句が秀作として選ばれました。

- |                |     |       |
|----------------|-----|-------|
| アカシヤの花に湖愁を漂よはす | 西桂町 | 郷田静子  |
| 億年の山湖に梅雨の又めぐり  | 中津森 | 小林 幹  |
| 梅雨茫茫富士全容をひたかくす | 田原  | 山田美佐子 |
| 西湖はさざ波硬し梅雨の風   | 桂町  | 関戸嘉三  |
| さわさわと青葉の海に溺れそう | 法能  | 長田まさ  |
| 湖の水絵は梅雨の波に消え   | 小形山 | 佐藤美須子 |
| 郭公の幽声いつこ湖の碧    | 中津森 | 酒井善蔵  |
| 万緑にうもれ小さき道しるべ  | 平栗  | 奥秋本江  |
| さすらえは吾も旅人花うつき  | 中津森 | 前田けさ子 |
| 死に神を制す樹海の花卯木   | 夏狩  | 藤江 登  |